

第1回 富山県中小企業の振興と人材の育成等に関する県民会議（概要）

日 時 平成24年12月4日（火）13:30～15:00

場 所 県民会館8階キャッスル

- 議 事
- （1）組織事項
 - （2）中小企業の振興と人材の育成等に関する基本条例について
 - （3）中小企業振興施策等について
 - （4）その他

委員からの主な意見

・県外からの下請受注にあたり、一企業が単独で一工程だけを受注するのは物流コストなどの面で障壁がある。機械加工や熱処理などの一連の工程を県内で複数企業が一括で受注できるよう、中小企業のグループ化を促進すべきである。

・インターンシップは高校生にとって大変貴重な経験になっている。また、最近では専門高校だけでなく、普通科においても職業や最先端の研究などに関する話を聞く機会も増えている。このような産業現場と教育現場の連携をさらに進めることで人材が育っていくと考える。

・ふるさと教育の推進にあたり、歴史や文化だけでなく県内産業の現状についても学ぶ機会を設けることで、ふるさとに対する理解が深まり、県内で活躍したいという気持ちも高まってくる。

・「とやま中小企業チャレンジファンド」では、新しい種を持った、頑張っている中小企業を応援してほしい。

・第二創業などの事業承継に対するバックアップを充実させてほしい。

・今、中小企業がどのように情報を発信していくかということが大事である。中小企業のICT（情報通信技術）の活用を促進し、情報発信力をつけてもらうことが重要である。

・業績悪化や後継者不足などにより廃業せざるを得ない中小企業の技術・技能はそこで失われてしまう。この技術・技能を地域の中でどのように活かしていくか考えることも大事である。今後は中小企業の持つ技術・技能を受け継ぎ、発展させていく取組みも必要となる。

・地元の人材を育てて地元で働いてもらうような、企業としての地産地消という考え方も非常に大切である。

・中小企業の経営者の方と話をすると、もっと情報が欲しいという意見が多い。県や金融機関などのビジネスマッチングについても、バイヤー情報などを充実させ、ターゲットを絞るなど、実効性の高いものにしていくべきである。

・中小企業の成長、発展という面では、資金と情報の両方の支援が必要である。中小企業へ有効な情報を提供していくためには、支援機関や金融機関などが組織や人同士のつながりを構築することが重要となる。ぜひ県が主体となり、そういった関係構築の機会を設けてもらいたい。

・中小企業支援については、公平性の観点から網羅的に実施していくことも大切であるが、薬品やロボット、航空機分野など牽引力のある分野へ重点的に配分することも重要である。

・人材育成において主力を成すのは企業内研修であると考え。中小企業自身で実施できない研修については、高専や大学、職業訓練施設などと連携し進めていくことが有効である。

・人材育成については、育成のターゲットによって求めるものが異なる。どの年齢層のこういったキャリアを持った人を、どのような形で、どう育てていくのか、しっかり整理してやっていかなければならない。

・中小企業支援を円滑に進めていくためには、県、市町村、支援機関などが積極的に情報交換を行っていくべきである。

・県内中小企業は家内工業という形も非常に多いが、若い後継者たちの中には何か技術開発して頑張っていこうという気持ちを持っている人も多い。そういった若い後継者たちのチャレンジする気持ちを支援してもらいたい。